

質向上へ人材教育に力

大槻光雄（日本自動車
行管理協） 会長に聞く

五輪輸送応え

ザーが満足するサービスを
提供し続けたい」と決意を
語る。

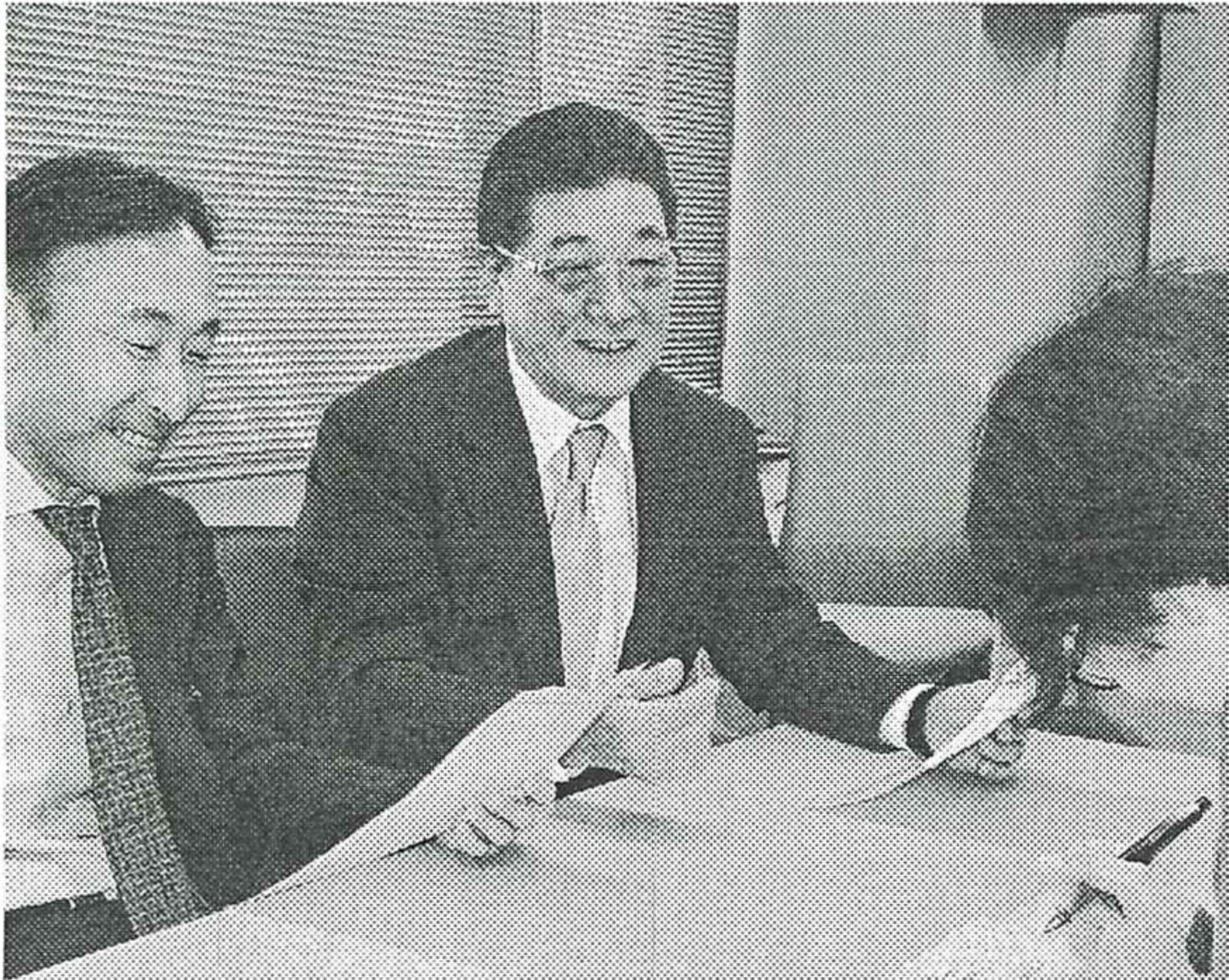
大槻会長は「ユーザーの
業績が良くなければわれわ
れは成長できず、サービス
の質も高くない。今の
日本経済は低迷している
が、ニーズはまだあり、
安定はしている」と感触を
話す。「かつてのような黒
塗り役員車が増えるのでは
なく、福祉関係や学生を対
象とした送迎の割合が多い
ように感じる。時代の流れ
だろう」と分析した。

勢を示した。

引き続き人材面を重視す
る同会長。「教育に時間を
かけ、ユーザーのお役に立
てて、信頼される人材を作
らなければならぬ。働き
手にとって魅力ある業界で
なければ人は集まらない。
運転サービスの質の確保
と、彼らの生活を安定させ
るといふ両面が大事にな
る。単なる運転技術だけで
なく、品位、人間性をいか
に磨いていくかに全力で取
り組む」と主張した。

自家用自動車管理業の業
界は近年、安定した業績を
維持している。今夏の東京
五輪関係の輸送でも大型契
約を受注し、準備を整えて
いる。日本自動車運行管理
協会（加盟43社）の大槻光
雄会長（共進社長＝横浜市）
は新年に向け、「われわれ
の事業は景気の動向に左右
されやすい。何より重要な
のは人の教育。優秀な運転
サービスマンを育てて、ユー

期待に応えたい」と強調。



協会事務所で打ち合わせする大槻会長
（中央）、山本哲也調査役（左）ら
（昨年12月18日、東京・五反田）